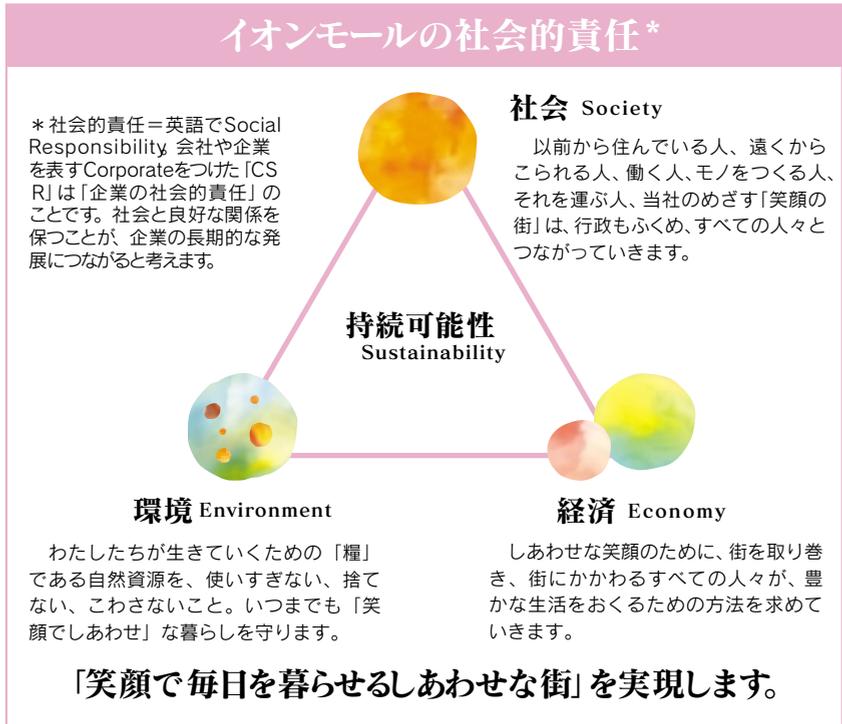


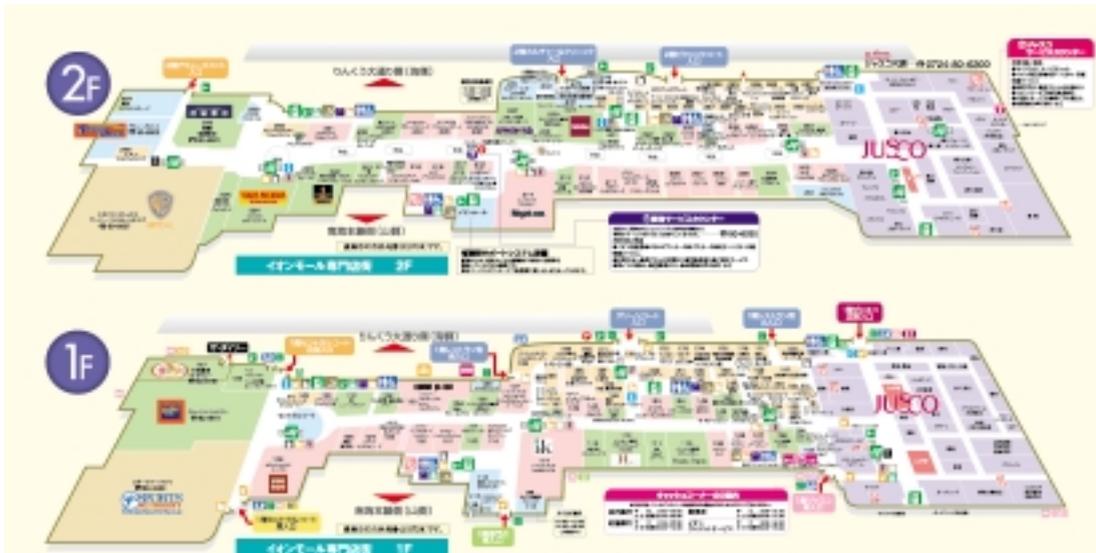
イオンモールは、「しあわせな街」づくりをめざします。

当社SCは、単なる店舗の集まりではなく、
 さまざまなサービスなどを提供する「街」と考えています。
 この「街」が、いつまでも笑顔あふれる「街」であるために、
 「街」にかかわるすべての人々とともにつくっていくこと。
 これが、当社に脈々と受け継がれている使命です。



イオンモールの目標は、すべての人々が
 いつも笑顔で毎日を暮らせることです。
 そのためには、次の3つが大切だと
 考えます。それは、「環境」「社会」「経済」
 の3つです。「笑顔で毎日を暮らせる
 しあわせ」は、人々のつながり、つまり
 ところ豊かな「社会」と「経済」があつて
 こそ。そして、それは、かけがえのない
 地球資源、「環境」を基盤にして成り
 立つのです。

この3つを「サステナビリティ(持続
 可能性)」という視点で取り組んでいく
 ことこそが大切だと考えています。
 わたしたちは、経済的な利益を求め
 るだけでなく、さらに長い目で将来を
 見据えなければなりません。それらの
 課題に取り組む続けることで「笑顔で
 毎日を暮らせるしあわせ」な街を実現
 します。



イオンりんくう泉南SCのフロアガイド(2005年3月現在)

2012年・50SC体制を見据えて ひとつひとつ実現していくために。

企業市民としての仕事を

イオンモール株式会社は、21世紀を見据えた研究会での検討から始まり、本格的なSCを創るディベロッパーになりたいと、1989年に、当時保険代理業を主力事業としていたイオン興産(現・当社)内にSCディベロッパー事業部門を設立しました。1992年の「イオン柏SC(青森県)」から始まり、2005年5月には、20SC目の「イオン宮崎SC」がオープンする予定です。その間、2002年には東証一部上場も叶い、今、さらに開かれた企業へと活動が広がっています。

当初より、環境問題はもとより福祉や地域貢献、雇用などの社会的な貢献は企業市民として当然のことと認識しています。地球温暖化ガスの排出抑制という点から、全SCで路線バスを

運行し、ごみのリサイクルも徹底して推進しているところです。全店クリーンエネルギーの導入も検討しています。

福祉面では、「元気なお年寄り」がテーマ。全SCバリアフリーで、車椅子などを用意しています。「イオン下田SC(青森県)」にはデイケアサービスも出店され、そのささやかな貢献に対して、思いがけなく「2002年度バリアフリー化推進功労者内閣総理大臣」表彰をいただき、今後の大きな励みになっています。

青森の厳しい気候の中でも快適なモール内を、リハビリ代わりに歩かれ、「少しずつ歩けるようになった!」とのお話を伺いますと、本当にうれしいものです。

小さなお子さまや体のご不自由なお客さまをはじめ、すべてのお客さまが安心して楽しい時間を過ごしていただけますよう、「どこよりも美しく、楽しく、親切に」を目標に、防犯面をはじめ安全管理にも全力を尽くしています。

サービス面をさらに広げていく

ここ数年、お客さまの要望は「モノからサービスへ」と目覚しく変化し、将来ますますその傾向は高まってい



イオンモール株式会社
代表取締役社長
川戸 義晴



くでしょう。

当社は、SCを単なる店舗の集まりではなく「街」ととらえ、「街をつくる」という一貫した考えを持っています。街にはお店だけでなく、医院や市役所もあるでしょう。官庁もサービス業であると考え、市役所の出店や税務署の確定申告の会場などを設けることで、さまざまな行政サービスの提供が可能となりつつあります。また、新潟県中越地震被災者支援などの募金や献血活動も以前よりはるかに関心が高まっています。このように当社のSCは、さまざまな社会との接点の「街」であることをみなさまに認識いただき、これからもさまざまな活動を拡大・提案していきたいと考えています。

企業が利益を上げることは結果です。私どもの最大の使命は、その地域発展の起爆剤になることです。そのためには、専門店全体の約3分の1は地元の方に優先的に出店いただく。さらにそこから、全国の当社SCへと展開していただければと、応援の気持ちで取り組んでいます。

また、雇用面では、それぞれのSCで約2,000人もの地元の方々が就労されています。毎月11日のイオンデーに

は、地域の方々とSC従業員と一緒に、クリーン活動をしています。

各SCでは定期的に土地の伝統芸能や環境社会貢献といった私どもの街づくりの考え方などについての勉強会を行っています。これらの無形の財産と一緒に育て、守り、楽しんでいただくことでアルバイトの方々までが一つの有機体として、地域においてなくてはならないものとなり、ここで働くことが誇りとなるよう育成し、浸透するようさらに取り組んでいます。

世界のトップ10入りを視野に

創業期は、各SCを手づくりで開発・運営してきましたが、今年から次への新たな時代を迎えたと考えています。

お客さまをはじめ、従業員、株主さま、取引先のみなさまに、さらに具体的にどのようにご満足いただくのか？ まず考えなければならないのは、リスク管理です。全社運営につきまして中期3ヶ年を視野に組織改革に着手したところです。

また、お客さまからいただいた承りカードにはすべてお返事をしていますが、いただいたご意見やアイデアで、実行できることはできる限り取り組ん

でいます。イオンモールは、地域のみなさまとともに「街」をつくるという思いを、お客さまにお伝えしていきたいのです。

環境面では、まだまだ課題がたくさんあります。お客さまにも参加いただく植樹祭では、これまでイオン全体で約530万本の木を植えてきました。SCの中にも外にも、さらに多くの木や緑を積極的に増やしていきます。また、自然光の有効利用や、中水施設・環境配慮型の建設資材の利用、風力発電といったことにも具体的に取り組んでいきます。そのためには、現在も開催しているイオンモールSR会議(SRとは、Social Responsibility:社会的責任)をさらに活性化させ、一つ一つの課題をできるだけ早く解決し、良い事例を全社に水平展開していきます。

課題はたくさんありますが、2012年・50SC体制を確立し、SC事業ディベロッパーとして世界トップ10入りを視野に活動していきます。

これから、さらに増す社会的責任を全員が自覚し、お客さまをはじめとするすべてのパートナーさまからのご意見やご指導をいただきながら、みなさまのご期待以上の活動ができるよう推進していきます。



2005年3月、オープン前の直方SC(福岡)の植樹祭にて。

すべては「お客さまのため」に。 この精神が当社を支えています。



岡崎 隆夫
常務取締役
管理本部長

2004年度の財務状況

2004年度は企業収益の改善や設備投資の増加を背景に、景気は一部回復基調で推移しましたが、個人消費は旺盛さが欠ける状況が続いていました。その中であって、当社は連結の営業収益427億6,400万円（対前期比121.1%）、経常利益137億9,500万円（同135.4%）、当期純利益77億8,200万円（同139.5%）となり、ディベロッパー事業を展開して以来、16期連続の増収増益となりました。

昨年8月開店の浜松志都呂SC、同11月開店のりんくう泉南SCは、ともに計画を上回り、好業績で推移しています。一昨年開店した盛岡SCや太田SCも好調です。

最優遇金利で資金を調達

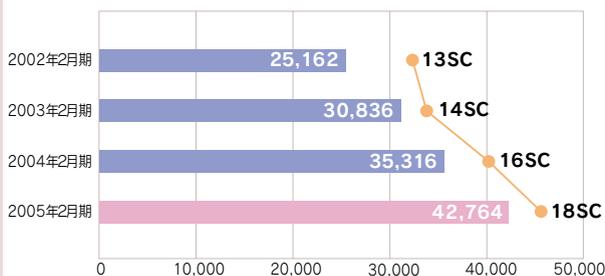
日本政策投資銀行から「環境配慮型融資制度」の融資を受けることになりました。これは、企業の環境への配慮に対する取り組み度合いを環境格付け評価したうえ、ランクに応じて適用金利が定められるもので、当社は2004年12月28日、環境への配慮が「特に先進的」という最高ランクの評価をいただき、最優遇金利で資金を調達できることになりました。

社会に果たす経済的な役割

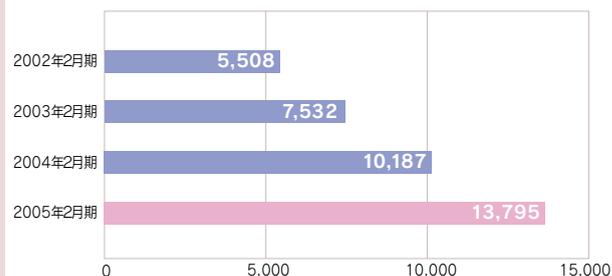
当社が生み出した利益や価値を、お客さまをはじめとするさまざまなパートナーさまと共有することで、長期的に持続する経済活動を続けられると考

財務ハイライト(連結) 単位=百万円

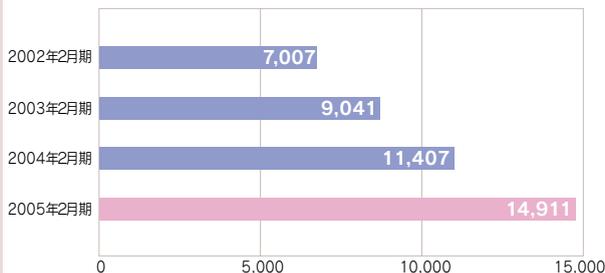
●営業収益



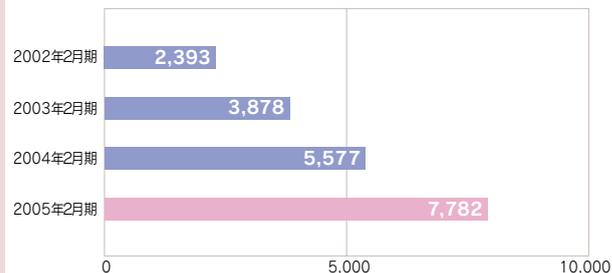
●経常利益



●営業利益



●当期純利益



えます。SCは、出店する地域でお客様に愛されなければ繁栄しません。

当社は、「お客様第一」の基本理念のもと、「社会的責任」を単なるお題目ではなく、社長をはじめ全従業員が取り組んでいるのです。

例えば、初年度の売上が300億円を超えた太田SCでは、2,200人の従業員のうちおよそ1,700人を地元から雇用。従業員の納税額を除いても、太田市に入る固定資産税、法人市民税だけで年間数億円になります。また、全SCで出店する専門店のうち3割前後は地元のみなさまのビジネスチャンス現場として用意しています。

地域のパートナーさまとともに展開するスタイルは地方自治体からも注目され、下田SCのように第3セクター方式で運営するSCもあります。

今後はバランスシートに負担の軽い財務運営を

当社は、高い収益力のある投資案件を選んで積極投資を行い、成長性の拡大を図るだけでなく、キャッシュフローの極大化をめざした不動産流動化の実施を並行的に行い、バランスシートに負担をかけずに、企業価値を高めていくことを念頭に置き、財務運営を行ってまいります。中期3ヶ年計画では、2007年度には、ROA(総資産当期純

利益)水準5%以上にしつつ、株主資本比率25%以上、有利子負債率25%以内をめざしてまいります。



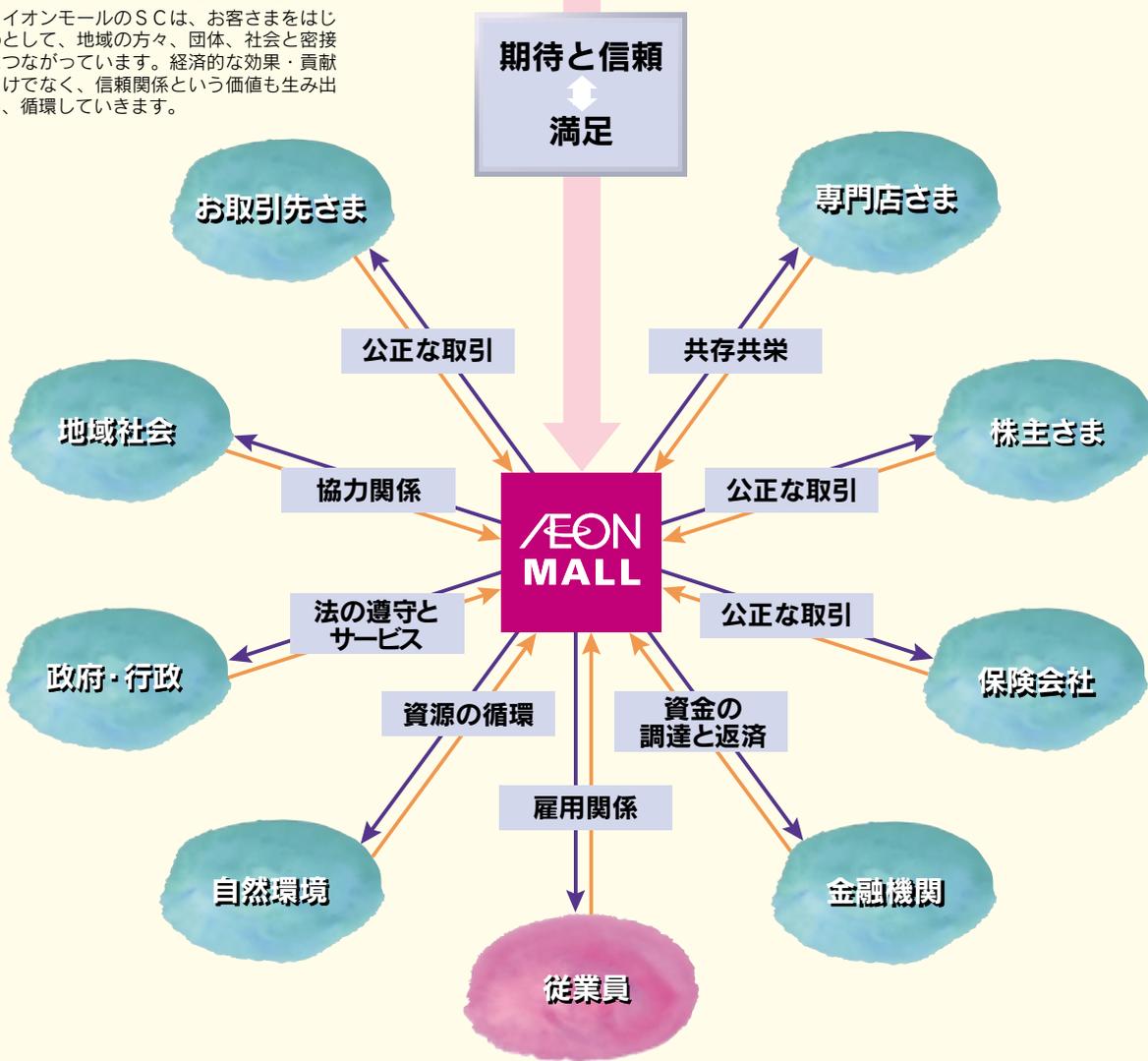
横山 宏
管理本部
財務グループ
マネージャー



イオンモールは、パートナーさまとともに「すべてはお客様のために」の視点で行動し、お客様から信頼と期待をいただき、共存共栄のバリューチェーン(価値の連鎖による永続的な発展)を築きます。

●SCが生み出す価値の共有と循環

イオンモールのSCは、お客様をはじめとして、地域の方々、団体、社会と密接につながっています。経済的な効果・貢献だけでなく、信頼関係という価値も生み出し、循環していきます。



〈イオンの基本理念〉

イオン (AEON) とは、
ラテン語で「永遠」をあらわします。
私たちの理念の中心は「お客さま」：
イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、
最もお客さま志向に徹する企業集団です。



〔平和〕：イオンは、事業の繁栄を通じて、
平和を追求し続ける企業集団です。

〔人間〕：イオンは、人間を尊重し、人間的な
つながりを重視する企業集団です。

〔地域〕：イオンは、地域のくらしに根ざし、
地域社会に貢献し続ける企業集団です。

〈イオン宣言〉

イオンは、
日々のいのちとくらしを、
開かれたところと活力ある行動で、
「夢のある未来」(AEON) に変えていきます。

〈イオン行動規範 宣言〉

- 一、イオンピープルは、常に多くの人々から支えられていることに感謝し、ひとときも謙虚な気持ちを忘れません。
- 一、イオンピープルは、人々との信頼をなによりも重んじ、いかなる時も正直で誠実な行動を貫きます。
- 一、イオンピープルは、お客さまの期待を感動に高めるため、常に自らを磨きます。
- 一、イオンピープルは、イオンの理想を実現するため、ためらうことなく変革への挑戦を続けます。
- 一、イオンピープルは、地域の発展を願い、よき企業市民として社会への奉仕につとめます。

イオン環境理念

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というグループ理念のもと、企業市民としての社会的責任を果たすため、社会貢献活動と環境保全活動を積極的に推進していきます。同時に私たちは、これらの活動が地域に根ざしたものであると認識し、地域の方々とのパートナーシップを育み、循環型社会の構築を目指します。

〈イオンモール環境方針〉

イオンモール株式会社は「どこよりも美しく、楽しく、親切なショッピングセンター」づくりをめざすショッピングセンター事業および「お客さまの安心とゆとりのためのリスクマネジメント」を推し進める保険代理店事業を柱とし、お客さまの安心、安全の確保を当社の事業活動の基本としています。

私たちイオンモール株式会社は環境保全活動の推進は当社の社会的責務であると考え、以下のとおり環境方針を定め、その履行に努めてまいります。

1. お客さまをはじめとするパートナーさまの生活環境の向上と、地域社会の発展と環境保全に貢献します。
 2. 環境法規制や当社が受け入れを決めた要求事項を遵守いたします。
 3. 環境マネジメントシステムを構築し、事業部門ごとに目的・目標を制定し汚染を予防する体制を築き、継続的な改善を推進します。
 4. 地球温暖化防止のため、CO₂排出抑制をめざします。
 5. 地球資源を保全し、循環型社会の構築をめざします。
- ① ショッピングセンター部門は、可能な限り廃棄物のリサイクルと廃棄物の発生抑制を推進し「ゼロ エミッション ショッピングセンター」をめざします。
② 保険および本社・管理部門は「紙の削減」をはじめ、循環型社会の構築に配慮した業務活動を推進します。

この方針を当社従業員に周知するとともに、当社の環境情報を公開いたします。

2004年2月26日
イオンモール株式会社
代表取締役社長 川戸 義晴

〈イオンモールの経営理念〉

基本理念「お客さま第一」

- 一、当社は環境保全並びに社会貢献を企業活動の基軸として積極的に推進する
- 一、創造的ショッピングセンターの開発と運営を通して地域社会の生活と文化の向上並びに商業の発展に貢献する
- 一、時代の変化に対応したリスクマネジメントとサービスの提供をはかり顧客並びに社会の発展に貢献する

イオンモール株式会社

どこよりも「美しく・楽しく・親切な」 SCづくりを、地道に・愚直に・徹底的に すすめていきます。



三浦 政次
取締役 経営企画部長

中期3ヶ年経営計画

当社は、「2012年度に50SC体制を確立し、世界のトップ10入りをめざす」という長期ビジョンをきっかけ、2005～2007年までの「中期3ヶ年経営方針および目標」をつくりました。

2007年までにさらに10SC以上をオープンし、強固な経営基盤を構築します。そのためには、当社の経営理念をしっかりと実行し、次の方針を具体的に挙げ、推進していきます。

全社方針●お客さまをはじめとするすべてのパートナーさまに喜んでいた

だけの経営であること。2007年の30SC体制を見通した組織力の強化と、リスクマネジメント体制をつくりあげること。

SC事業方針●各SCでの意思決定のスピードアップ、次世代SCプランの構築、既存SCの増床活性化の推進、不動産リスクの低減化などによる企業価値の向上につとめること。また、新しいSCをつくる一方で、既存SCをいつまでも地域の方々の街であり続けるよう活性化などの課題に具体的に取り組んでいきます。

保険事業方針●当社SCに保険相談カウンターを設置し、さらにはお客さまのニーズに合う新提案をすることにより、当社のスケールメリットを活かし、さらなる業務拡大をめざします。個人のお客さまはもちろんのこと、グループ企業やお取引先さまへの営業力を拡大していきます。年金制度や医療保険制度の改革などを、ビジネスチャンスの拡大ととらえ、事業の拡大・強化をすすめていきます。

社会的責任の遂行方針●企業規模の拡大に伴い、求められる社会的責任の大きさも認識しています。環境面では、環境マネジメントシステム(ISO 14001)をさらにブラッシュアップしていきます。

また、これまで取り組んできた地域への社会貢献活動も、当社独自の活動として、より明確に社会的責任を果たしていきます。さらに、2005年からは個人情報保護法、2006年からは公益通報者保護法などが施行されます。これらの法律や規定を守ることはもちろんのこと、イオン行動規範を浸透させていきます。

地道に愚直に徹底的に

以上の経営方針を実現するためには、当社で働くすべての従業員が、どこよりも「美しく」「楽しく」「親切な」SCづくりに臨むこと。そして、「地道に」「愚直に」「徹底的に」仕事をすすめること以外に方法はないと確信しています。



りんくう泉南SC



SC内に保険相談カウンターを
設け、お客さまの相談に応じます。
(りんくう泉南SC)

明日へ

●社会的責任のさらなる遂行

社会的責任を果たすために、定期的にSR会議が3年前から行われています。企業規模が大きくなるとともに、当社に求められる責任はますます大きくなっていくことを認識しています。それらを実現していくために具体的な目標設定と、体制作りをすすめます。

子どもたちの未来のため、 新しい文化を発信するために。



羽間 和彦
常務取締役 SC営業本部長

2004年度、8月に浜松志都呂SC (静岡県)、11月にりんくう泉南SC (大阪府) がオープンし、当社SCは全国で18SCになりました。また、2005年は、直方^{のおがた}SC (福岡県) が4月にオープンし、現在、開店をめざして宮崎SC (宮崎県)、内原SC (茨城県) も準備を進めています。

当社のSCには、たくさんのお客さま

が集まります。そこには多くの可能性があります。さまざまなイベントを通して、伝統的な行事を掘り起こし、子どもたちの未来を育てる場所にしたい。新しい文化を発信する場所にしたい。そんな思いで、地域の方々とともに2012年までに50SCの「街」づくりをめざしていきます。

2004年度地域貢献トピック

- 番号は、①総従業員数 ②商業施設面積 ③駐車台数
④テナント数 ⑤植樹数 ⑥CO₂排出量を表します。

イオン高知SC



黒原 大補GM

当SCは毎年8月、「よさこい祭り」の演舞場になります。2004年は111チームのみなさまが演舞、県内外の10万人のお客さまに楽しんでいただきました。

①1,950人 ②59,681㎡ ③3,100台
④109店 ⑤36,000本 ⑥18,870t

イオン新居浜SC



真崎 健一GM

190年以上も伝えられている新居浜の太鼓台の伝統を守るべく、5月の子ども太鼓台を皮切りに、会場を提供。地域のみなさまに喜んでいただきました。

①1,400人 ②50,215㎡ ③3,500台
④80店 ⑤35,000本 ⑥13,967t

イオン倉敷SC



高橋 章夫GM

今年度より確定申告の会場を倉敷税務署にお貸しでき、成功しました。また、中越地震に46万円、スマトラ沖地震に56万円など多大な募金が寄せられました。

①1,956人 ②71,706㎡ ③4,000台
④124店 ⑤70,000本 ⑥20,663t

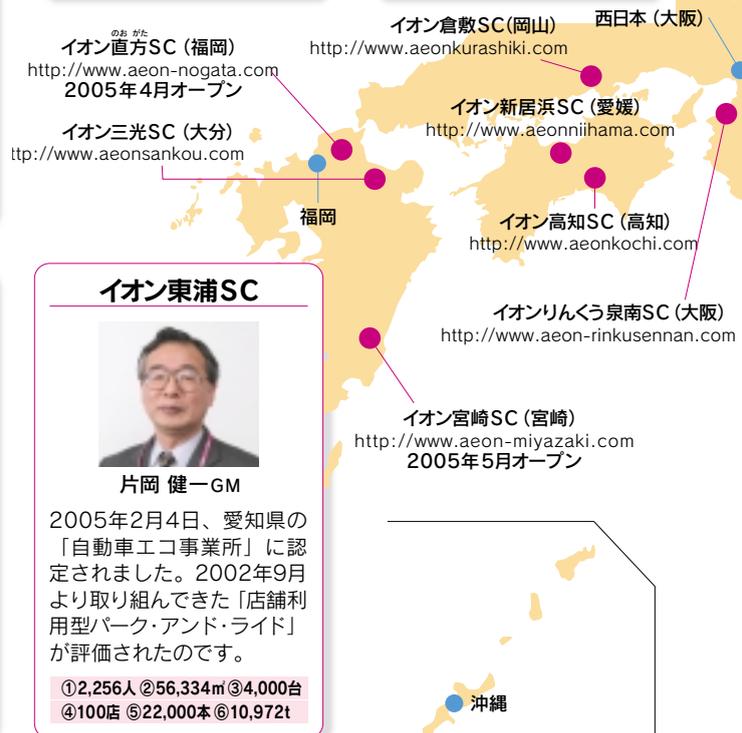
イオンりんくう泉南SC



梅林 正和GM

11月のオープン後、毎祝祭日の翌日に行われる地域清掃の他「水辺のクリーン大作戦」に従業員164名が参加。SC前のビーチを清掃し喜ばれました。

①2,945人 ②77,026㎡ ③4,367台
④170店 ⑤26,528本 ⑥4,440t



イオン三光SC



佐々木 真人GM

剥離材のリサイクル化の実施、ライトダウンの2004消灯協力、行政や学校合同の募金活動、身体障害者の方のふれあいコンサートなどを実施しました。

①765人 ②36,052㎡ ③2,700台
④70店 ⑤36,658本 ⑥9,728t

イオン鈴鹿SC



中沢 正春GM

父の日、母の日、敬老の日には、地元園児達による似顔絵を毎回2,500点以上を展示。地元小学校の社会科見学の受け入れも22校1,016名に上りました。

①1,740人 ②66,554㎡ ③3,500台
④150店 ⑤40,000本 ⑥13,155t

イオン東浦SC



片岡 健一GM

2005年2月4日、愛知県の「自動車エコ事業所」に認定されました。2002年9月より取り組んできた「店舗利用型パーク・アンド・ライド」が評価されたのです。

①2,256人 ②56,334㎡ ③4,000台
④100店 ⑤22,000本 ⑥10,972t

イオン柏SC



村山 悦朗GM

2005年2月11日、1町4村の合併による「つがる市」が誕生し、4月1日には、当SC内に市出張所が誕生しました。当SCの利便性がさらに向上しました。

①1,063人 ②51,238㎡ ③2,700台
④77店 ⑤72,388本 ⑥8,847t

イオン秋田SC



藤原 雄三GM

秋田県と一緒に県内のイベントを実施。秋田発の新人タレントや目立たない地域の特産や名物、さらに秋田萬歳の祭典などの伝統芸能を紹介しました。

①1,607人 ②65,194㎡ ③2,700台
④111店 ⑤43,127本 ⑥16,002t

イオン下田SC



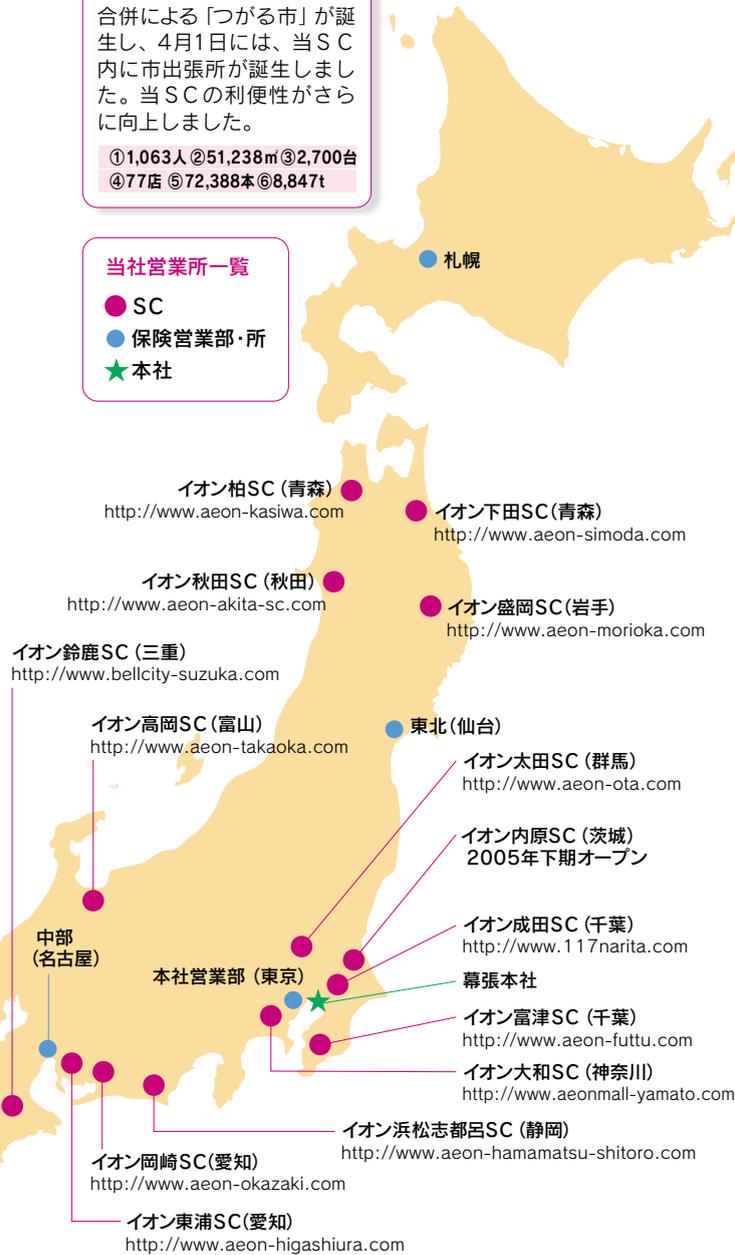
深谷 雅明GM

第3期の改修、増床が行われた2004年は、地域の伝統芸能を紹介するイベントや遺跡の展示、地元音楽家に発表の機会を提供するなど力を入れました。

①1,500人 ②53,277㎡ ③4,000台
④110店 ⑤50,675本 ⑥15,573t

当社営業所一覧

- SC
- 保険営業部・所
- ★ 本社



イオン盛岡SC



栗田 健二GM

日本造形の会、杜の家造形教育研究会主催、当SC協賛で子どもの創意と感性の発場の場として、「遊びと創造の祭典」を開催。500名の子どもたちが参加しました。

①1,700人 ②41,245㎡ ③2,800台
④115店 ⑤26,528本 ⑥10,686t

イオン太田SC



下岸 春雄GM

地域貢献の一つとして、サッカー大会「イオン太田RYOMO CUP2004」を開催。両毛広域都市圏の各地域の小学生6チームが参加し、交流を深めました。

①2,380人 ②62,046㎡ ③4,200台
④132店 ⑤54,549本 ⑥13,426t

イオン成田SC



古木 繁GM

毎年7月に成田山新勝寺を中心に行われる「成田祇園」に当SCも外国人客と一緒に参加、国際色豊かな山車を当SC経由で成田山まで曳き回しました。

①1,600人 ②65,913㎡ ③3,500台
④120店 ⑤46,000本 ⑥18,348t

イオン富津SC



伊藤 眞GM

7月18日、イオン富津SC杯争奪ジュニアサッカー大会に協賛。地元4市36チームが参加し、2日間にわたり富津ふれあい公園で熱戦が繰り広げられました。

①985人 ②32,425㎡ ③1,800台
④80店 ⑤32,000本 ⑥8,652t

イオン高岡SC



西野 克彦GM

「あそびの学校」は、昨年度も大盛況で多くの子どもたちが参加しました。また、夏の風物詩、ライトアップされた瑞龍寺の写真展や七夕祭りにも協賛しました。

①2,204人 ②64,534㎡ ③3,600台
④130店 ⑤44,726本 ⑥14,002t

イオン岡崎SC



大村 郁夫GM

岡崎市花火大会の協賛やお花見大会で地元住民と交流。また、地場産業を紹介するイオンカルチャーフェスティバルイン岡崎を毎年開催しています。

①2,600人 ②69,118㎡ ③3,500台
④130店 ⑤50,000本 ⑥8,947t

イオン浜松志都呂SC



鈴木 真琴GM

2月3日～9日まで、当SCイオンホールで県内初の「浜名湖花博思い出写真展」を開催。多くのお客さまにあの感動を再び呼び起こし、好評を博しました。

①2,200人 ②65,322㎡ ③3,500台
④150店 ⑤30,000本 ⑥9,228t

イオン大和SC



岡 茂徳GM

「震災の日」に、駐車場を救援物資配送基地として提供、大和市役所と合同の防災訓練を行いました。店内では市役所職員による地震対策相談も実施しました。

①1,630人 ②33,153㎡ ③1,900台
④83店 ⑤20,849本 ⑥10,745t



SCに置かれる**募金箱**やポスターなどを制作しています。これからもイオンモールの社会貢献活動のお手伝いが出来ると思います。
 ◎株式会社フンカ 池谷純さん



子ども連れのお客さまが夢中で商品を見ておられる時、他のスタッフがお子さまをみるようにしています。でも、混んでいると、それも難しくなってしまう。お買い物をしている間、安心してお子さまを預けるSCの場所がほしいですね。
 ◎倉敷SC・ルカ店長 土師かおりさん



わたしは群馬県警のOBです。退職後、太田SC内の警備や従業員研修などの仕事をしています。生まれも育ちも伊勢崎ですが、県内で仕事をしてきましたので、ここ太田のこともよく知っています。このSCは、思ったよりも**平穩**ですね。
 ◎太田SC・ゼネラルマネージャー付 木村功さん

広くてきれいでびっくり。車椅子が置いてあるのは、私たち**年寄りにはうれしい**こと。でも、駐車場が広すぎて、帰りに自分の車がどこにあるのかわからなくて困りました。表示をもっと大きくわかりやすくしてほしいと思います。
 ◎浜松志都留SC・お客さま 松永義雄さん・松永時子さん

イオンモールのSCはこんな街です。



倉敷SCのお店は、お客さまの年齢層がさまざまなのでおもしろいです。リピーターのお客さまも多く、わざわざ私を指名してくださる方もいて、**やりがいを感じます**。
 ◎倉敷SC・INGNI販売員 伊東沙織さん



家から自転車を通っています。オープン前から準備していましたので、このSCには愛着があります。**お客さまと話すことが好きなんです**。
 ◎りんくう泉南SC・コムサイズム販売員 船野史奈さん



もつとホームページを充実してもらえれば、買い物前に調べられて便利です。SCの**環境保全活動**についても、**もつとアピールしては？**
 ◎太田SC・お客さまモニター 小島裕子さん

子どもが好きなので、この仕事に就きました。館内には、他に子ども服の専門店もあります。お休みの日にも、一緒に盛り上げていく感じが、毎日来ておつとに感じます。ここには、**好きなんです**。
 ◎りんくう泉南SC・BETTY'S BLUE & K.L.C.販売員 松井香奈さん



りんくう泉南SCで、設備・管理から駐車場の交通整理、警備、清掃を管理しています。大阪湾が目の前なので、**気持ちがいい**のですが、海風が強く、カート回収が大きな仕事です。今年の夏はさて、どうなるのか。楽しみでもあり、心配でもあります。

©りんくう泉南SC・防災センター長 白川治雄さん



オープンの7年前から、下田SCをつくる準備に参加し、一緒に街をつくってきました。地元の方の願いでできた観覧車を撤去するのは残念ですが、代わりに**未来のシンボル**として、風力発電を計画していることは、誇りにもなるでしょう。

©下田SC・下田タウン株式会社 杉本 健さん



病院から外泊許可をもらったので、家に帰る前にショッピングを楽しんでいます。**ベンチが多く、通路が広い**ので、通りやすいのがいいですね。

©東浦SC「イオンの森通信」より・お客さま 石川里美さん、石川志保ちゃん



倉敷SCで館内のグリーンの手入れをしています。館内のグリーンは水やりの加減やら、ほこりのふきとりが大変。でも、**館内に本物の木**があることで、お客さまに安らいでいただけたと思っています。これからも増やしていきたいです。

©倉敷SC・クラレ不動産株式会社 小番貞行さん

わたしの仕事は、専門店の方々が気持ちよく働いていただけるようにすること。そのため、常に専門店さまとコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことに努力しています。目標にどこまで近づけるのか、挑戦し、成長できる**ありがたい場所**です。

©太田SC・管理課総務 亀田容子さん
2004年度優秀フレックス社員賞受賞

中高年のご夫婦もたくさんおみえになります。料理の説明をするなどお客さまとの会話が楽しいです。西日本でも有数のSCの店長として働けることを**誇り**に思っています。



©りんくう泉南SC・日本橋 四六時中店長 清水信久さん

多くの人が集まるイオンモールのSC。
お客さまや従業員、さまざまな人がいます。
あなたにとってSCって、
どんな場所ですか？

「イオンの森」の育樹祭は、**毎年恒例の家族行事**になっています。植樹祭の時からみんなで参加しているんですよ。とても楽しみです。鳴崎繁一さん、鳴崎樹生ちゃん、鳴崎静香さん、鳴崎樹生ちゃん、鳴崎敏子さん、鳴崎重樹さん



ディセンターの職員で、りんくう泉南SCの「プチンレイン」というパン屋の販売担当もしています。ここに出演してから、売上が3倍になりました。添加物は使わず、天然酵母を使ったパンなので、発酵から仕込みすべてに手間がかかります。でも、**みんな仕事が好き**なので、忙しくなっても楽しくやっています。

©りんくう泉南SC・「プチンレイン」販売員 沢田徹子さん



「街」はこうしてつくられます。

「街づくり」は、綿密なマーケティングにより商圈や地域のニーズをとらえ、計画段階から開店後まで、つねに

地域のみなさまをはじめとするパートナーさまとの意見交換のうえでつくられていきます。

